

令和 7 年 度
編 入 学 学 生 募 集 要 項
(出 願 書 類 添 付)



出 願 期 間	令和6年7月10日 (水) ~7月16日 (火)
検 査 日	令和6年8月23日 (金)
合格発表日	令和6年8月28日 (水)

独立行政法人 国立高等専門学校機構

秋田工業高等専門学校

National Institute of Technology, Akita College

〒011-8511 秋田市飯島文京町1番1号

T E L (0 1 8) 8 4 7 - 6 0 1 7

F A X (0 1 8) 8 4 7 - 0 3 7 2

URL <https://www.akita-nct.ac.jp>

目 次

◎ 編入学学生募集要項

1. アドミッションポリシー（入学者受入方針）	1
2. 募 集 人 員	1
3. 編 入 年 次	1
4. 出 願 資 格	1
5. 出 願 手 続	2
6. 選抜の方法	3
7. 合 格 発 表	4
8. 個人情報の取扱いについて	5
9. 注 意 事 項	5
10. 障害等を理由とした合理的配慮に関する事前相談について	5
11. 入 学 手 続	5
12. 入学時に必要な費用等	5
別 表	6

添付書類等

1. 編 入 学 願 書
2. 受験票・写真票
3. 検定料振込用紙

編入学学生募集要項

1. アドミッションポリシー（入学者受入方針）

本校では、自立・挑戦・創造を教育理念に掲げ、社会が必要とする人材の養成を目標として、創造性豊かな技術者の育成を目指している。そのために本校では一般科目と専門科目からなる専門性の高い教育を行うため、以下のような人を求めている。

- | |
|---|
| 1. 高等学校卒業レベルの知識・技能を有し、同等レベルの思考力・判断力・表現力などの能力を身につけている人 |
| 2. 理数系に興味のある人 |
| 3. 機械系、電気・電子・情報系、物質・生物系、土木・建築系に関する知識を深め一層理解したいという学習意欲のある人 |
| 4. 自ら新しいことに取り組むなど、チャレンジ精神旺盛な人 |
| 5. 協働して物事に取り組み、ものづくりに関心のある人 |

（入学者選抜の基本方針）

本校では、数学・英語・専門科目または理科の学力試験に重点を置くとともに、調査書と面接により人物を見極め、実務経験等も考慮した学力選抜を行うことにより入学者を決定する。

2. 募 集 人 員

機 械 系	各系若干名
物 質 ・ 生 物 系	
土 木 ・ 建 築 系	

3. 編 入 年 次

第4学年とします。

4. 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 高等学校または中等教育学校の後期課程を卒業した者または令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 次の①から⑤のいずれかに該当する者で、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または令和7年3月までにこれに該当する見込みの者
 - ①外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

- ④高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で高等学校卒業相当以上の年齢に達した者
- ⑤上記①～④の他本校において高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

5. 出 願 手 続

（１）出願期間 令和 6 年 7 月 1 0 日（水）から 7 月 1 6 日（火）まで（郵送の場合も期間内必着）

（２）出願書類

①編入学願書	本校所定の用紙に、志願者が必要事項を記入し、写真を貼ってください。
②調査書	出身(在籍)学校所定の用紙に学校長が記入の上、厳封したものとします。
③卒業証明書または卒業見込証明書	出身(在籍)学校所定の用紙に学校長が証明したものとします。
④受験票・写真票	本校所定の用紙に、出願前 3 か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真（縦 4 cm×横 3 cm）を貼り、必要事項を記入してください。
⑤受験票返信用封筒	長型 3 号封筒に志願者の郵便番号、住所および氏名を記入し、344 円切手（郵送による場合）（速達）を貼ってください。ただし、直接願書を持参する場合は不要です。
⑥検定料	16,500 円（本募集要項に綴じ込みの「検定料振込用紙」に志願者名を記入し、銀行で振り込んでください。なお、振込後「振込金受取書」の写しを編入学願書の所定の欄に貼って提出してください）また、振込済の検定料はいかなる理由があっても返還しません。ただし次の(ア)または(イ)に該当する場合は検定料を返還しますので、本校学生課教務係（TEL:018-847-6017）に申し出てください。 (ア) 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかったまたは受理されなかった）場合 (イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合 （注）返還に伴う振込手数料は志願者本人の負担となります。 【郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込手続きについて】 検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができます。その際は、以下の条件を満たしてください。 1) ゆうちょ銀行からの振込は、志願者本人名のゆうちょ銀行口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、「通帳とお届け印」または「キャッシュカード」が必要となります。 2) ゆうちょ銀行からの振込は、本要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、それにより振り込んでください。 3) 振込後は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を受領し、その写しを編入学願書の所定の欄に貼って提出してください。

⑦受験承諾書	現に就職している者は所属長，大学に在学中の者は学部長，専修学校に在学中の者は校長の「受験承諾書」（書式は任意）を提出してください。
⑧国籍及び在留資格を確認できるもの	外国人で現に日本に在留している志願者は、「在留カード」の写しまたは市区町村長の発行する「外国人登録済証明書」を提出してください。

(3) 出願方法

編入学志願者は出願書類を一括し，出身（在籍）学校長を経て，持参または郵送にて本校学生課教務係へ提出してください。窓口での受付時間は平日の9時から16時です。郵送の場合は，必ず**書留郵便**とし，封筒の表に「**編入学願書在中**」と**朱書**してください。

郵送先 〒011-8511 秋田市飯島文京町1番1号 秋田工業高等専門学校 学生課教務係

6. 選 抜 の 方 法

学力検査，出身（在籍）学校長から提出された調査書および面接の結果を総合して判定します。
なお，現に就職している者については，実務経験を考慮します。

(1) 選抜期日 令和6年8月23日（金）

科 目	数 学	英 語	専門科目または理科	面 接
時 間	9：20～10：50 (90分)	11：10～12：10 (60分)	13：00～15：00 (120分)	15：15～

(2) 試 験 場 秋田工業高等専門学校

(3) 学力検査

(ア) 学力検査は筆記試験とします。

(イ) 学力検査科目

数学，英語，専門科目または理科とします。

なお，出題科目の検査範囲は別表（6ページ）のとおりとします。

(注1) 工業に関する学科以外の普通科や理数科等から物質・生物系を志望する場合は，**数学，英語，理科（物理および化学）**とします。

(注2) 土木・建築系を志望する場合の専門科目は，**出願時に入学願書の土木・建築系受験科目選択欄で選択した土木基礎または建築基礎のいずれか1科目**を解答することとします。

(4) 面 接 学力検査終了後，個人面接により行います。

(5) 受験上の注意

(ア) 試験当日は8時40分から9時10分までの間に所定の試験室に入ってください。

(イ) 試験中は，受験票，時計，黒鉛筆，シャープペンシル，消しゴム，定規，コンパス以外のものは机の上に置かないでください。

(ウ) 検査室に時計はありません。各自時計を使用する場合は，時計は腕から外し，アラームを解除したうえで，机の上においてください。計算機能や辞書機能等を有する時計は，持ち込みを禁止です。

(エ) 携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の通信機器は，アラーム設定を解除のうえ，

電源を切って、カバン等の中に入れてください)。時計としての使用も認めません。

(オ) 専門科目の試験の際は、関数電卓（シャープ EL-578）を貸与しますので、試験中にそちらを使用することができます。

(カ) 当日の昼食は、各自持参してください。

(キ) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。

7. 合 格 発 表

令和6年8月28日（水）13時（予定）に、合格者の受験番号を本校のホームページに掲載します。また、文書で出身（在籍）学校長および本人に通知（発送）します。なお、**電話等による問い合わせには応じません。**

8. 個人情報の取扱いについて

編入学志願者から提出された編入学願書や調査書等に記載されている情報および選抜に用いた試験成績・評価など編入学者選抜を通じて取得した個人情報は、編入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用することがあります。

- (1) 入学後の修学指導および学生支援
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校および国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

9. 注 意 事 項

- (1) 出願書類を受理したときは、受験票を交付します。郵送で出願した場合で、令和6年7月23日（火）までに受験票が届かない場合は、下記まで連絡ください。
- (2) 受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。
- (3) 出願関係書類に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 受験のための宿泊を必要とする場合は、各自で準備してください。
- (5) 学生寮に入寮を希望する場合は、選考の上許可します。合格者には、別途入寮手続案内を送付します。

10. 障害等を理由とした合理的配慮に関する事前相談について

受験時及び入学後に、障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する場合は、合理的配慮の検討をする都合上、在籍（出身）学校は早めに本校へ相談してください。なお、合理的配慮に関する申請および問い合わせ内容は、試験の合否判定には一切影響はありません。

- (1) 受験に当たって配慮してほしい措置
- (2) できるだけ詳細に高等学校等が配慮している措置
- (3) 入学後、本校において特に配慮する必要のある措置又は指導上留意すべき事項

提出の時期：令和6年7月29日（月）

提出先：秋田高専学生課 TEL:018-847-6017

11. 入 学 手 続

合格者は「令和7年3月(予定)本校が指定する期間」に入学手続を行うと共に入学料を納付してください。詳細については、別途通知します。なお、手続を行わない者は、入学を許可しません。

12. 入学時に必要な費用等

(1) 学 費 等 (予定)

入 学 料	84,600 円	学生会入会金・会費(前期分)	6,000 円
授 業 料 (前期分)	117,300 円	日本スポーツ振興センター共済掛金 (年額)	1,550 円
教科書・教材費等	約 60,000 円	入寮費(入寮者のみ)	3,000 円
後援会入会金・会費(前期分)	21,500 円	寄宿料前期分(入寮者のみ)	4,200 円

* 上記金額は、令和6年度のものであり、金額が変更になる場合があります。

* 入寮する場合は、上記寄宿料他、給食費等その他の費用がかかります。

* 授業料は、希望により前期分納付の際に、後期分も合わせて納付することができます。

(2) 奨学金制度および入学料・授業料の免除等について

① 奨学金制度

経済的理由により修学が困難な事情にあり、学業成績、人物とも優れた学生のために奨学金制度があり、選考の上、奨学金が貸与または給与されます。

日本学生支援機構奨学金は次のとおりです。

給付 (4年～5年)	自 宅 通 学	月額 17,500 円(第1区分), 11,700 円(第2区分), 5,900 円(第3区分)
	自 宅 外 通 学	月額 34,200 円(第1区分), 22,800 円(第2区分), 11,400 円(第3区分)
貸与第一種 (4～5年)	自 宅 通 学	月額 20,000 円, 30,000 円, 45,000 円
	自 宅 外 通 学	月額 20,000 円, 30,000 円, 40,000 円, 51,000 円
貸与第二種(4～5年)		月額 20,000 円～120,000 円(10,000 円刻み)

* 上記金額は、令和6年度のものであり、金額が変更になる場合があります。

* この他にも、外部の団体が実施する奨学金があります。

② 入学料および授業料の免除ならびに徴収猶予制度について

入学前1年以内に学資負担者が死亡した等の特別な理由により、入学料の納付が困難であると認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、入学料の全額もしくは半額を免除し、またはその徴収を猶予する制度があります。

また、上記の日本学生支援機構の給付奨学金に採用された学生は、採用区分に応じた入学料および授業料の減免が受けられます。

学 力 検 査 範 囲

学 力 検 査 科 目		範 囲	
〔各系共通〕 一 般 科 目		数 学	(1) 数学Ⅰ (2) 数学Aの「場合の数」 (3) 数学Ⅱ (4) 数学Cの「ベクトル」
		英 語	(1) 英語コミュニケーションⅠ (2) 英語コミュニケーションⅡ
専 門 科 目	機 械 系	機 械 設 計	(1) 機械に働く力と仕事 (2) 材料の強さと使いかた
		機 械 工 作	(1) 各種の工作法
	物 質 ・ 生物系	工 業 化 学	(1) “気体と水の化学”から「気体の性質」 (2) “元素の性質と化学結合”から「化学結合」 (3) “石油と化学”から「有機化合物の基礎」
		化 学 工 学	(1) 物質とエネルギーの収支 (2) 単位操作の「流体の輸送」
	土 木 ・ 建 築 系 (2科目中 1科目選択)	1. 土 木 基 礎	(1) 構造力学の基礎 (2) 土質力学の基礎 (3) コンクリート工学の基礎 (4) 水理学の基礎 (5) 測量学の基礎
		2. 建 築 基 礎	(1) 構造力学の基礎 (2) 土質力学の基礎 (3) コンクリート工学の基礎 (4) 建築の歴史 (5) 各種建築物の計画
理 科 (普通科等から物質・ 生物系受験の場合)		物 理	(1) 物理基礎 (2) 物理の「さまざまな運動」および「波」。 ただし、「波」は「波の伝わり方」のみ。
		化 学	(1) 化学基礎 (2) 化学

令和7年度 秋田工業高等専門学校 編入学願書

志望系			系	受験番号 ※			写真添付 (全 面 糊 付)	
学力検査科目	1. 数学・英語・専門科目				1 出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きのもの 2 サイズは、縦4cm×横3cm。横3cm。 3 白黒又はカラーのいずれでも可			
	2. 数学・英語・理科(物理・科学) ※物資・生物系を志望する普通科等工業系学科以外出身者のみ選択可							
	(土木・建築系志望者のみ) 土木・建築系を志望する場合は下記から1科目を選択し、番号を○で囲んでください。 1. 土木基礎 2. 建築基礎							
志願者	ふりがな				生年	平成	年	月 日生
	氏 名				月日	満 歳		
					性別	男 ・ 女		
	履 歴	学 歴	立 年 月 日		高等学校・中等教育学校		科	
		年 月 日 卒業・卒業見込・修了・修了見込						
	高等学校・中等教育学校卒業後の経歴				年 月		年 月	
	郵便番号		—		電話番号		() —	
現 住 所								
入学した場合の入寮希望の有無 有 ・ 無								
保護者	氏 名				本人との続柄			
	現 住 所		〒 — 電話番号 () —					

記入上の注意

1. 黒または青のボールペンを使用し、かい書で記入してください。
2. 該当事項を○で囲み、※印欄は記入しないでください。
3. 「高等学校・中等教育学校卒業後の経歴」欄には、受験資格を得た後の経歴を記入してください。書ききれない場合は、別紙提出可とします。
4. 「学力検査科目」欄は、工業に関する学科以外の学科から物質・生物系を志望する場合は2を○で囲み、それ以外の場合は1を○で囲んでください。
5. 志願者の「住所」欄は、誤記等により受取人不明で返送されることのないように正確に記入してください。出願後、転居等のために受信場所を変更する場合は、直ちに本校学生課教務係に連絡してください。
6. 「志願者氏名」及び「保護者氏名」は、必ず自署してください。
なお、現に就職している志願者は「保護者氏名」欄は記入しないでください。

振込金受領書(コピー)を貼ってください

この罫線枠内に振込金受取書(コピー)を貼ってください。

切り離さないでください

令和 7 年度
秋田工業高等専門学校

受 験 票

受験 番号	※
氏名	
志望系	系
写真貼付欄 (全面糊付) 1. 出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きのもの。 2. サイズは、縦4 cm×横3 cm。 3. 白黒またはカラーのいずれでも可	
(選抜の日程)	
令和6年 8月23日(金)	数 学 9:20～10:50
	英 語 11:10～12:10
	専 門または理科 13:00～15:00

注) ※印の欄は記入しないでください。

令和 7 年度
秋田工業高等専門学校

写 真 票

受験 番号	※
氏名	
志望系	系
写真貼付欄 (全面糊付) 1. 出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きのもの。 2. サイズは、縦4 cm×横3 cm。 3. 白黒またはカラーのいずれでも可	

注) ※印の欄は記入しないでください。

検 定 料 振 込 用 紙

※ 検定料振り込みに関するお願い

- ・ 願書提出前にお近くの銀行で振り込んでください。(秋田銀行で振り込みますと、手数料が割安となります。)
- ・ 志願者本人のお名前で振り込んでください。
- ・ 銀行から渡される「振込金受取書」のコピーを受験票・写真票の上段の所定の欄に貼ってください。
- ・ 自動振込機での振り込みはできません。

こ こ か ら 切 り 取 っ て 使 用 し て く だ さ い 。

□振込金受取書

(兼手数料領収書)

□預金口座振込請求書による振込受付書 (兼手数料領収書)

※振込金額に○(又は△)を表示します

依 頼 日	年	月	日
金 額	百万	千	円
振込先	秋田銀行 港北支店		
受取人	独) 国立高等専門学校機構		
依頼人 (志願者)	お名前		

手数料			円
-----	--	--	---

(消費税率が含まれています)

収 納 印	印 紙
銀行	支店
(取扱店)	

(本人保存)

(取扱店 → 取りまとめ店 → 秋田工業高等専門学校)

振 込 通 知 書

(検 定 料)

下記のとおり、振り込みましたので通知します。

依 頼 日	年	月	日
金 額	百万	千	円
振 込 先	秋田銀行 港北支店		
1 普通預金	267213		
独) 国立高等専門学校機構			
依頼人 (志願者)	お名前		
ご住所	〒		

(取扱店)

銀行	支店
----	----

電信扱

- ・ 自動振込機での振り込みはできません。
 - ・ 手数料については、ご本人負担となります。
- (銀 行 切 り 離 し)

電信扱

振 込 依 頼 書

依 頼 日	年	月	日	振込指定	電 信 扱	手 数 料	円
振 込 先	秋田銀行 港北支店			金額	百万	千	円
受 取 人	1 普通預金 267213			現金	1	6	5
	トク) コクリツコウトウセンモンガッコウキコウ			当手	0		
	独) 国立高等専門学校機構			他手			
依頼人 (志願者)	フリガナ						
お名前							
ご住所	〒						
				収入印又は振替印			
				電話番号 () -			
				取扱銀行へのお願い 本枠内を打電してください。			

(取扱店保存)